

おかげさまで 50周年

1970-2020

東北電力株式会社 秋田火力発電所



秋田火力発電所の歴史は、1970(昭和45)年8月19日 1号機(35万kW)の営業運転とともにスタートしました。

その後、2号機(35万kW 1972.2月)、3号機(35万kW 1974.11月)、4号機(60万kW 1980.7月)が順次運転を開始し、合計出力165万kW(当時当社最大)となりました。

東日本大震災(2011.3月)により太平洋側の多くの発電所が被害を受けたため、わずか1年で5号機(33.3万kW 2012.6月)を建設し、電力の安定供給を支えました。

現在は、4号機のみ運転となっておりますが、猛暑や極寒時などより多くの電力が必要な時のピーク電源として、みなさまの暮らしに寄りそってまいります。

より、そう、ちから。⚡ 東北電力